



夫は人工膀胱、妻は人工肛門 牧師夫妻のがんばらない 「^{けい}老^{ろう}」生活

中村寿夫 著

“恵み” いっぱい “老後” 生活 キリスト教会の牧師として、夫婦ともに歩んで62年。教会開拓、極貧生活、介護、それぞれの大病——。人生の終盤に差しかかり、見えてきた「ほんとうに大切なもの」とは。神奈川県と香川県で、これまで3つの教会で牧師をしてきた著者が語る、「恵み」にあふれる「老後」生活。

中村寿夫（なかむら・ひさお）

1936年 東京で生まれる。1953年 米国宣教師ロス師から受洗。1965年 川崎市で井田キリスト教会開拓伝道。1980年 横浜市菊名に会堂建設。菊名西教会と改称。2005年 日本長老教会・菊名西教会退任（在任40年）。同年 香川県・満濃キリスト教会牧師就任。2013年 日本長老教会・満濃キリスト教会退任（在任8年）。現在、日本長老教会・さがみのキリスト教会協力牧師。その他、キリスト教関係の海外書籍26冊の翻訳を手がける。聖契神学校（東京）で16年間「日本キリスト教史」「キリスト教教育」を教える。

B6判 224頁 定価1,760円(本体1,600円+税)

ISBN978-4-264-04496-3 C0036

いのちのことば社 卸コード 09190